

2026 年 8 月 3 日

企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による 定期会合の開催

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2026 年 7 月 31 日に、コネチカット州ノーウォークで会合を開催しました。この会合は、高品質でグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJ と FASB が定期的に行っているもので、今回で第 36 回目となりました。

今回の会合では、ASBJ 及び FASB の代表者が、それぞれの活動状況について報告を行い、企業結合及び金融商品といった、双方が関心を有するテーマについて意見交換を行いました。

ASBJ と FASB は、今後も対話と協力を継続していく予定であり、次回の会合は 2027 年前半に東京で開催される予定です。

川西 安喜 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「ノーウォークでの対面会合を主催してくださった FASB に心より感謝申し上げます。会合では、幅広いテーマについて建設的な議論ができました。今回の議論は、これらの専門的な論点についての理解を深め、意見交換する貴重な機会となりました。今後も緊密な対話を継続し、我々の協力関係を更に強化することを期待しています。」

リチャード・ジョーンズ FASB 議長は次のように述べています。

「FASB は、ASBJ をノーウォークにお迎えし、それぞれのアジェンダに上がっている財務報告に関連する重要な問題について議論できたことを喜ばしく思います。このような会合は、テクニカル・プロジェクト及び世界の資本市場に影響を及ぼす最近のトレンドや新たに発生している論点に関する FASB のリサーチなど、相互に関心のある基準設定プロジェクトについて意見交換する貴重な機会となっています。世界中の投資家にとって有用な情報を提供する基準を開発し支援するという両者に共通のコミットメントを推し進める中で、継続的な対話を行っている川西委員長及び彼の同僚の ASBJ の委員に感謝いたします。」

企業会計基準委員会（ASBJ）について

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2001年7月に公益財団法人財務会計基準機構（FASF）の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により日本において一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなります。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発しています。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献しています。ASBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト（<https://www.asb-j.jp/jp/>）をご参照ください。

米国財務会計基準審議会（FASB）について

FASB は、1973 年に設立された、一般に認められた会計原則（GAAP）に従う公開企業、非公開企業及び非営利組織のために財務会計及び財務報告の基準を設定する独立の民間の機関であり、コネチカット州ノーウォークに拠点を置いています。FASB は、米国証券取引委員会（SEC）により、公開企業のための指定された会計基準設定主体として認識されています。FASB の基準は、各州の公認会計士審査会及び米国公認会計士協会（AICPA）を含む、その他の多くの組織により権威のあるものとして認識されています。FASB は、投資家その他の財務報告書の利用者に有用な情報を提供する財務報告を促進することを意図した、透明性があり、誰でも参加できるプロセスを通じて、財務会計の基準を開発し、公表しています。米国財務会計財団（FAF）は、FASB の支援及び監督を行っています。詳細な情報は、ホームページ（www.fasb.org/）をご参照ください。